

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	子ども・子育て支援課長 河原 賢	電話番号	0852-22-6071
----------	------------------	------	--------------

事務事業の名称	仕事と家庭の両立支援事業		
目的	(1) 対象	労働者	
	(2) 意図	仕事と子育ての両立ができる雇用環境をつくる	
事業概要	仕事と子育ての両立ができる雇用環境をつくるため、従業員の子育てに積極的に取り組む企業を「こころカンパニー」に認定し、県の入札制度や制度融資で優遇する。積極的に育児に参画する男性（イクメン）や従業員（部下）の育児を理解し応援する経営者・管理職（イクボス）を養成するための各種の啓発を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	こころカンパニー認定企業数	目標値	290.0	300.0	330.0	360.0	400.0	社
	式・定義	しまね子育て応援企業認定制度（こころカンパニー）の認定を受けた企業数	実績値	263.0					
			達成率	90.7	-	-	-	-	
2	指標名		目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	386	905
うち一般財源 (千円)	386	905

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

こころカンパニー認定企業数は着実に増加している（H27年度末256社→H28年度末263社）
 こころカンパニー認定により県の建設工事で優遇される措置により、そうした業種に認定企業の偏りが見られる（建設業者数184社）
 イクボス養成セミナーについては、こころカンパニーを中心に16社【団体】、38名の参加があった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

こころカンパニー認定企業数は着実に増加しており、仕事と子育ての両立ができる雇用環境の広がりに寄与している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
 特定の業種以外のこころカンパニー認定企業の登録が少なく、多くの企業で子育て関係制度の活用が課題。
 こころカンパニーの認定については、企業本社が県外である企業は対象外として扱ってきたが、大きな雇用の場となっている大規模な事業所も少なくないことから、こうした事業所の取り扱いを検討する必要がある。
 イクボス養成セミナーについては、必要性や意義を感じていない企業は、相当の呼びかけをしても参加してもらえず、真に必要な性の高い企業に対応できていない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 特定の業種以外は登録のメリットが少なく、インセンティブが働きにくい
 認定基準が当該企業の子育て環境の実態を反映しきれていない
 現在は、一般事業主行動計画が島根労働局に提出されているもののみを対象としている。
 イクボス養成が企業にとっても企業自体にも有形無形の利益をもたらすことが認知されていない
- ③原因を解消するための「課題」
 こころカンパニーへの幅広い業種の企業の登録の拡大
 イクボス養成の必要性などの普及啓発

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

こころカンパニーの認知の拡大と登録制度の一部見直し
 効果的な普及啓発の企画実施

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）